



・園内は子どもたちの元気な声と笑い声に溢れ、不思議と寒さを忘れてしまいます。
冬の遊びや楽しみを見つけながら、今月も元気に過ごしたいと思います。

R5 1.6 新年の集い

獅子舞が
やってきた！！

ちょっとびっくり
しちゃった。

コマ回し

手作り凧あげ

けん玉

福笑い

ぞう

きりん

ひよこ (0歳児)

1月より毎朝、朝の集まりが始まりました。保育士がパペットや絵本を用意すると自然と集まり、会が始まる事を楽しみに待つ子どもたち。挨拶の歌ではペコッとお辞儀をしたり、“どこでしょう”の歌に合わせてお名前呼びでは、自分の名前が呼ばれると「はい」と手を挙げて返事をする姿や、言葉での返事が難しい子どもたちも手を挙げて応答したりと1日の始まりを楽しんでいます。

今月は節分の日に、新聞紙を使った豆まき遊びを取り入れ、行事に親しみが持てるように考えています。
また、ひな祭り製作ではデカルコマニーに挑戦したり、室内や戸外での宝探しを計画したりし、新しい遊びも行ってゆきます。
様々な遊びを通して、友だちとの関わりを楽しんだり、触れ合う中で言葉を習得したり、身の回りの事象から“発見やときめき”に丁寧に応え、探求心を育みます。

☆ひよこ組親子行事
3月7日(火)10時～10時30分を
予定しています。

谷原 瑞希

りす (1歳児)

年末年始の連休が明け、言葉数が増えて「〇〇いったよ」と教えてくれることもちょうど驚きました。うさぎ組への進級に向けて、1月より①組、②組合同で過ごす機会を増やし過ごしています。一緒に過ごす中で、友だちの名前を覚え呼んでみたり、「いっしょにあそぼう」と誘う姿が見られます。また、友だちの遊ぶ様子を観察したり、真似たりしながら、関心を深める姿が見られます。

今月はまだまだ寒さが増すため、室内あそびをする機会も増えますが、サーキットやボールプールなどを取り入れ、身体を十分に動かして楽しめるよう計画しています。暖かい日には、戸外で追いかっこや電車ごっこなどをし、丈夫な身体作りができるようにします。
また、季節を感じられる製作を計画しており、折り紙をちぎったり、のりを塗り広げたりと細かな工程を入れ、たくさん指先を使えるようにしてゆきます。感染症等が流行しやすい季節であるため、手洗い、換気、湿度管理にも徹底し、予防に努めます



池野 明花

うさぎ (2歳児)

また一段と寒さが増す時期となりましたが、元気いっぱい戸外や室内で遊んでいます。
歌を歌うことがとても上手なうさぎ組、4月から朝の会や終わりの会での歌の時間を大切にしていきたいです。新しく少し難しい歌を歌う事になっても、数日歌っていると自然と覚えて歌えるようになるので、いつも驚かされます。

歌だけではなく、リズム遊びや楽器遊びでも同様に、単調なリズムはもちろん、少し複雑なリズムでも上手にリズムを取っています。何より、子どもたちが楽しんで参加していることに、私たちも日々喜びや楽しさを感じています。

今月上旬には、保育参観を予定しています。是非、子どもたちの保育園での姿、また成長した姿を保護者の方にご覧頂けたらと思います。2月も歌をはじめ、友だちとの関わりを大切にしながら、ルールのある遊びや園外散歩など計画予定しています。うさぎ組で過ごす残り2か月間を大切に、楽しく過ごせるよう保育を進めます。

相星 奈津子

くま (3歳児)

先月は、伝承遊びを行い、正月の雰囲気を感じて友だちと競い合いながら楽しむ姿が見られました。また、寒さに負けず元気いっぱい外で走りまわり、身体を動かして遊んでいます。
食育では、ブラックライトを使い、日頃の手洗いが上手にできているかを確認しました。子ども達は、洗い残しのばい菌を見て「うわ～、めっちゃ付いてる」「ひかてる」とびっくりしていました。感染症が増えてくる時期なので、子ども達も保育士と一緒に手洗いをし、元気に過ごせようにします。

今月は、バス遠足を計画しています。寒い日が続きますが、保育士や友だちと一緒に伸び伸びと戸外で身体を動かし、寒さに負けない元気な身体づくりをしてゆきます。くま組での残り2か月間、保育士と一緒にたくさん成長できるよう支えます。



松永 舞

ぞう (4歳児)

新しい一年が始まり、より一層パワーアップした子どもたちの姿がたくさん見られました。寒さに負けず、戸外では身体を十分に動かして遊んでいます。

今月は、食育として取り入れたお店屋さんごっこやバレンタインクッキング、ぞう組最後の園外保育をメインに大人も子どももワクワクするような保育を計画しています。
お店屋さんごっこに向けて1月から準備を進めており、子どもたちが考えたお店をもとに、それぞれがモノづくりに励んでいます。自由に表現する楽しさを存分に味わいながら、友だちと一緒に一つの目的に向かって取り組む達成感を味わえるよう進めています。

また、少しずつ「きりんぐみのおにいさん、おねえさんになる！」ということを意識し始めており、子どもたちなりに様々な葛藤を経験しています。一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、少しでも期待感を持って進級に向かうことができるよう、傍で見守り支えます。



大杉 静香

きりん (5歳児)

年末年始を家族で過ごし、楽しい思い出をたくさん聞かせてくれました。一方、「早く友だちに会いたかった」という声も多く、子どもたちの心の変化が感じられました。
正月の伝承あそびでは、友だちと試行錯誤したり教え合ったりしながら、新年の雰囲気を楽しみました。友だちとの関わりがグッと広がっているにも関わらず、トラブルは少なくなり、クラスの雰囲気にも温かみが感じられるようになりました。

子どもたちの「保育園、楽しい!」「友だち、だいすき!」を大切に、残り2ヶ月がより良い時間になるよう、みんなで関わり合える2月にしたいと考えます。
試行錯誤したり、発見したり、協力したり、楽しんだり、一生懸命頑張ったり、、、友だちや保育士と“一緒に”過ごす時間を尊重し、一人ひとりの“ココロ”の成長に寄り添います。

“笑顔いっぱいの 2月になあれ!”



山田 実咲

